

令和7年1月6日
地域デジタル推進課長 四柳
外線：076-225-1320

デジタル技術を活用した避難者支援業務に係る技術検証の実施について

避難所運営等の災害時における避難者支援業務のデジタル化を促進し、有事の業務効率化及び高度化を図るため、デジタル庁主催の技術検証及び実証実験を石川県（県地場産業振興センター）にて開催することとなりました。

2月18日の実証実験に先立ち、1月15日に、県や市町の職員を対象に、Starlinkと可搬型バッテリーを活用した緊急時の通信確保の技術検証を実施します。

記

1. 技術検証の概要

- 日時： 令和7年1月15日（水）13時00分～14時00分
- 場所： 石川県地場産業振興センター 大ホール（石川県金沢市鞍月2-1）
- 内容： Starlinkと可搬型バッテリーを用いた避難所運営システムの連続稼働試験及び機器の設置訓練
- 参加： 石川県職員、県内市町職員

2. 事前ブリーフィングの概要

- 日時： 令和7年1月9日（木）15時00分～16時00分
- 場所： オンライン（Microsoft Teams 会議）
- 内容： 実証事業（令和7年1月15日及び令和7年2月18日実施）の詳細説明

（参考）実証実験について（詳細は後日改めてお知らせ）

- ・ 日時： 2月18日（火）9時15分～17時45分
- ・ 場所： 石川県地場産業振興センター

※詳細は別紙（デジタル庁報道資料）のとおり

令和6年12月26日

デジタル庁

避難者支援業務のデジタル化に係る技術検証及び実証事業について — 石川県において実施 —

デジタル庁は、自治体における防災DXの推進をはかるため、デジタル技術を活用した避難所運營業務等の効率化などについて実証事業を行っています。

今年度は石川県の協力のもと、令和6年度能登半島地震の対応の中で得られた課題や知見を踏まえ、Starlink（スターリンク）¹と可搬型バッテリーを活用した緊急時の通信確保の技術検証を総務省と連携して実施するほか、マイナンバーカードのタッチデータを活用した避難者情報の把握などについて実証実験を行います。

記

1. 技術検証の概要

- ・ 日時： 令和7年1月15日（水） 13時00分～14時00分（撮影・取材可能時間）
- ・ 場所： 石川県地場産業振興センター 大ホール（石川県金沢市鞍月2-1）
- ・ 内容： Starlink と可搬型バッテリーを使用した避難所運営システムの連続稼働試験、機器の設置訓練

2. 実証実験の概要

- ・ 日時： 令和7年2月18日（火） 9時15分～17時45分（撮影・取材可能時間）
- ・ 場所： 石川県地場産業振興センター 大ホール（石川県金沢市鞍月2-1）
- ・ 内容： 避難者支援業務のデジタル化の有効性およびマイナンバーカードを活用した避難所運営等の効率化の検証 等

※技術検証及び実証実験の撮影・取材等に関する詳細は別紙をご確認ください

以上

【本内容に関する問い合わせ】

デジタル庁 国民向けサービスグループ 防災DX担当
古本・岩井 bosai@digital.go.jp

【取材に関する問い合わせ】

デジタル庁 政策広報
青柳・山室 070-7416-9950
pr@digital.go.jp

¹ Starlink は、米 SpaceX 社が提供する低軌道衛星を利用した衛星通信回線です。

令和7年1月15日（水）技術検証の撮影及び取材について

1. 令和7年1月15日（水）技術検証概要

- ・ 令和6年1月に発生した能登半島地震では、停電や通信遮断が発生し、平時で利用していた電源や通信機器が利用できなくなる事態が発生しました。
- ・ 停電や通信遮断を伴う災害が発生した際も、デジタル化した避難所運營業務を遂行することができるか検証するため、Starlinkと可搬型バッテリーを使用した避難所運営システムの連続稼働試験と、自治体の職員を対象に機器の設置訓練を実施します。
- ・ 今回技術検証では総務省と連携し、総務省において備蓄しているStarlink及び可搬型バッテリーを使用して検証します。

2. 撮影・取材のスケジュール

※時間は前後の進行によって変更となる場合があります。

時間	内容	備考
13:00～13:30	技術検証 ・ Starlink と可搬型バッテリーを使用した避難所運営システムの連続稼働試験 ・ 機器の設置訓練	現地にて 12:30 から技術検証について、報道関係者向けの事前ブリーフィングを実施予定です。
13:30～14:00	デジタル庁・石川県 総務省担当者 ぶら下がり取材	(予定) - デジタル庁 防災班 企画官 根本 深 - 石川県 地域デジタル推進課 課長 四柳 明人 - 総務省 北陸総合通信局 防災対策室長 川合 徹

3. 留意事項

- ・ 取材中は腕章の着用をお願いいたします。
- ・ 取材に際しては、広報担当者の指示に従うようお願いいたします。また、取材・撮影による検証結果への影響が出ないようにご配慮願います。
別途、担当者への個別取材をご希望の方は必ず事前にご連絡願います。

4. 会場へのアクセスについて

石川県地場産業振興センターへのアクセスは以下リンクからご確認ください。

<https://www.isico.or.jp/site/jibasan/jibasan-access.html>

※車両は施設内の駐車場をご利用ください。

5. 取材申し込みについて

撮影および取材を希望される場合は、**令和7年1月9日（木）18時まで**に記載のフォームから登録願います。 : <https://forms.office.com/r/cpuQY9wYRj>

令和6年12月26日
デジタル庁

石川県における避難者支援業務のデジタル化に係る技術検証 及び実証事業に関するブリーフィングの開催について

デジタル庁は、来年1月及び2月に石川県と総務省の協力のもと、令和6年度能登半島地震の対応の中で得られた課題や知見を踏まえ、Starlink（スターリンク）と可搬型バッテリーを活用した緊急時の通信確保の技術検証を総務省と連携して実施するほか、マイナンバーカードのタッチデータを活用した避難者情報の把握などについて実証実験を行います。

技術検証及び実証実験の詳細につきまして、以下のとおり、事務方による報道関係者向けのブリーフィングを実施いたします。

記

1. 日時 令和7年1月9日（木）15時～16時

2. 開催形態 オンライン（下記 Teams からお入りください）

https://teams.microsoft.com/l/meetup-join/19%3ameeting_ODJjOTMzMjYtOTAwOS00Y2IzLWFmMWItNmY1Y2Y0NmRmYTI4%40thead.v2/0?context=%7b%22Tid%22%3a%2206e4a0ff-4972-4a8b-af30-4571361d1344%22%2c%22Oid%22%3a%22f3144957-b6ae-40f5-bf5a-79fceafb7bd%22%7d

3. 内容

令和6年度能登半島地震での対応や課題を踏まえた実証事業（令和7年1月15日及び2月18日実施予定）の詳細について

※参考：デジタル庁 令和6年度避難者支援業務のデジタル化に関する実証事業について
https://www.digital.go.jp/policies/disaster_prevention#20241225-01

4. 対応者 デジタル庁 総務省 石川県 担当者（予定）

5. 事前登録

参加希望の方は、**1月9日（木）14時00分まで**に以下のフォームよりご登録ください。

※当日の説明資料はブリーフィング開始前に登録アドレス宛に送付いたします。

※参加登録フォーム：<https://forms.office.com/r/Gn2bk1Y8t9>

6. 留意事項

- ・ブリーフィングの際は表示名に「社名_氏名」の設定をお願いします
- ・ブリーフィングの録画及びストリーミング配信等は不可となります
- ・Teams アプリから入室ができない場合、ブラウザ経由での入室を試みてください

【内容に関するお問い合わせ】

デジタル庁 防災 DX 担当 古本・岩井 bosai@digital.go.jp

【ブリーフィングに関するお問い合わせ】

デジタル庁 広報班 青柳・山室 070-7416-9950 pr@digital.go.jp